

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、北浜圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和5年6月23日（金）10時00分から11時30分まで
参加者	委員：12人 事務局：2人 関係機関：4人
場所	ふれあい交流センター浜北 大会議室
内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 会長より挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1)令和4年度 生活支援体制づくり協議体会議の振り返り</p> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空白地域はあったが、サロン活動できる地域が増えた。</li> <li>・東部地区に比べ中地区は活動していない地域が多い。</li> </ul> <p>(2)令和5年度 生活支援体制づくり協議体会議の取り組みについて</p> <p><b>【意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空白地区としてビレッジハウスがあるが、外国籍など様々な事情の方が住んでいる。まとめてくれる人がなかなかいない現状がある。</li> <li>・貴布祢第7町内会はサロンの開催方法を知りたいと来ている。</li> </ul> <p>→自治会長や町内会長がやるかどうかということが第一。 負担にならないよう、内容は簡単でいいからまずはやってみることが大切だと助言した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴布祢には公民館がない地域もあるため、中央公民館を借りることになる。また、公民館がない、小さいところもあり、場所を確保できない現状がある。公民館を持っていない地区には、サロン立ち上げを促す声掛けはしにくい。</li> <li>・貴布祢全町内会合同での開催でもいいのであれば良いが、自治会ごとに区別されると困る。もともと貴布祢では独居高齢者を集めたふれあい昼食会を開催していた。何かしらの形で月1回の集まりはある。それをサロンと呼べるなら良いが。</li> </ul> <p>→細かい単位でできればいいが、大きくても小さくてもいい。 会場がないことはよく問題となる。他地区では福祉施設活用していたこともある。場所を探すことが次の課題になってくる。</p> <p>→場所があれば少し考えられるかもしれない。 既存の集まりに加えてのサロン開設となると負担を感じる。 貴布祢全体での活動をカウントしてもらえると楽。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場確保が課題。全体での開催にすると大人数で、役員が必要になる。年に何回もやれない。他との兼ね合いもある。</li> </ul> <p>→サロンは1つの手段。違うことでも地域に出ることができていればそれは成功。 助成金は1つの見せ玉。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人数でも小人数でも助成金は同じ。それでも集まれる場を作るために開催し、広がるならいい。お金出すからやっというように聞こえる。カラオケやおしゃべり会と</li> </ul>

か、目的あれば集まりやすい。

- ・チラシを住民に配っても主催者側がやる気にならないと意味がない。
- ・チラシの配布は去年から考えているのに配布が遅すぎる。間が空きすぎて進んでいかない。次回開催までの期間が長い。早く進めるにはこの集まりから民生委員や各施設でどんどん広めていくしかない。
- ・補助金を申請する場合、チラシ配布を2月に予定すると、配布してからの準備期間が短く、慌てて準備することになる。配布してから申請までに考える時間がない。もっと早く配布しないと実際の立ち上げ準備ができない。
- ・東部地区では、サロンを始めるにあたって何を聞いたら良いか分からないという相談があった。1自治会1サロンの認識あるが、そうではない事も伝えている。少しずつ浸透してきている。
- ・東部地区は新たな会場ができることでサロン開設の相談があった。
- ・八幡地区は世帯数が少ないことと、空白地域の自覚がないため、サロンを開設する気はないが、何らかの形での集まりはある。それをサロンにできたらいい。チラシがそのきっかけになると良い。

### (3)サロン活動立ち上げ用のチラシ作成について

#### 【意見】

- ・チラシの配布を1回で終えるよりも、1回目をきっかけにして、2回目のチラシへ繋いでいくべきである。
  - ・他の回覧物と一緒に回覧してしまうと見てもらえない。分けて回覧するように申し込み、単独で回してもらえた方が良いのではないか。
  - ・配布対象を運営側、参加者側向けのどちらにするか決める必要がある。
  - ・一般向けとリーダー向け並行し作成する方が早く進む。
  - ・周知と立ち上げのどちらが焦点なのか。
- 立ち上げ用のチラシだと、“一般向け”と既にやっている地域で未参加の人向け“と区別しないと内容が増えてしまい見てもらえないと思う。
- ・北浜全体かサロンがない地域に配るのか。
  - ・サロンが立ち上がる可能性がある人にターゲットを絞る方が効率良いのではないか。
  - ・可能性がある所をモデルケースとする。実績が必要。モデルケースあると結果も出る。
  - ・以前はサロンが行われている場所をマップにまとめた。
  - ・コロナ禍でずっとサロンが開催できていない。自治会役員は毎年変わる。目的や必要性理解出来てない人がいるはず。毎年出前講座を行い、役員に必要性感じてもらうべき。必要性感じていない人が役員になると簡単にサロン活動をやめてしまう。
  - ・サロン活動の立ち上げだけでなく、参加を促すものもいい。立ち上げはハードルが高い。自治会で対処しきれないことを協議体の場で共有できるといい。
  - ・サロン開設から時間が経過して、目的を見失っているところが結構見受けられる。目的を何度も提示していく必要がある。チラシがそのツールになると良い。
  - ・サロンを行う場所が課題。自治会で線引きするのではなく、遠くて行けない場所等を資料作成する必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同地区内に別のサロンがあっても、内容が違えば行きたくなる。役員が変わってつぶれることないように別組織ができること大切。</li> </ul> <p>III.決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空白地域をターゲットにサロンの立ち上げを促すものと、地域全体に向けて参加を呼びかけるものの2つのチラシを作成。</li> <li>・次回までに、今回の意見とアンケートを基に、事務局がたたき台を作る。次回はスクリーンを活用し、レイアウトをその場で動かしながら作成していく。</li> </ul>
<p>今後の見通し等</p>	<p>次回会議予定：令和5年10月20日（金）10：00～11：30 ふれあい交流センター浜北 大会議室</p> <p>次回協議体会議までに、今回の意見とアンケートを基に、事務局が2つのチラシのたたき台を作成し、次回会議にてそのたたき台のレイアウトを検討する。</p>